

さくらんぼ保育園

表現教室 作品展

～さくらんぼの華たち～

講師 渡邊晃一（福島大学 人間発達文化学類 准教授）
加藤友紀（福島大学 学生）
角田麻衣（福島大学 学生）
東川亜樹（福島大学 学生）
八巻佳奈子（福島大学 学生）
齋藤美德（福島大学 学生）

【テーマ】

- 4月 光と色（ひかりといろ）
- 5月 音（おと）
- 6月 水（みず）
- 7月 太陽（たいよう）
- 8月 海（うみ）

○半年間を通して

現代のメディア普及に伴う子どもたちの生活において、実際に「本物」に触れる機会が減っていると思います。自分で見つけ出したものではなく、テレビやパソコンの映像というような、あらかじめ整備された状態のものすぐに与えられて見ることが増えているのではないかでしょうか。それは同時に、「本物」に触れたときに感動する心や、その驚きの揺れを感じる機会が減少することに繋がり、きれいで整ったものしか受け入れられない、かたまた感受性を生み出しかねないと考えます。美術館で素晴らしい作品を見たときに、何かを感じる心も大切だと思います。しかし、いつも歩いている道で、小さな花が咲いていたり、春の風の匂いを感じたりして揺れることのできる心もまた大切なのだと思うのです。実際のものに直接触れて、身体に備わっている五感を目一杯使って体験することが今の子どもたちには必要なではないでしょうか。本物に触れたときの驚き、心の揺れ、「作品」を創り出す目的ではなく、「表現あそび」としての活動において、生きる中での豊かな創造力と表現力を養っていきたいと考えます。子どもたちが表現したいようにできる環境づくりに配慮しながら、身体を使って体験ことが大切であり、そこに上手、下手のような概念をこちら側から植えつけないように留意したいと考えます。

1,2歳の時期では、身体の基本的な機能（つかむ、触る、聞く、など）を使うようにはつきかかる活動をメインにする。

3歳の時期では、その身体の基礎機能、五感を使って感じたことをイメージし、表出す活動をさせていきたい。

4,5歳の時期では、そのイメージしたものを作り活動において、造形に表現する。

2010年4月12日

「光で遊ぼう」

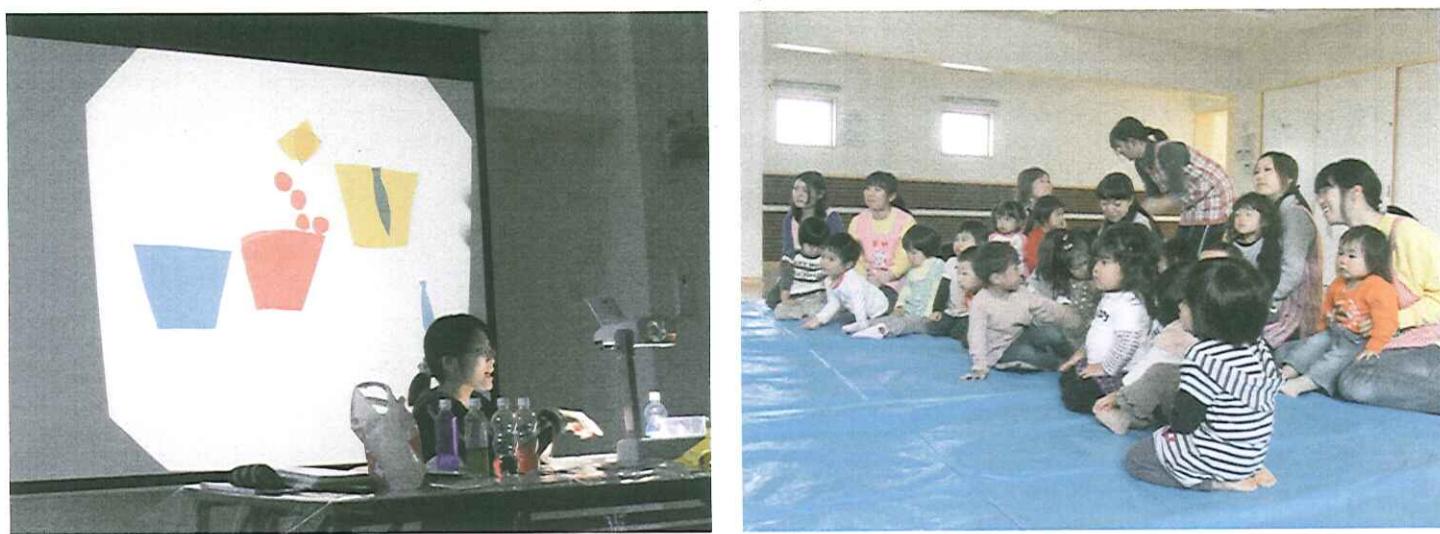
◎つぼみ・ももぐみ

カラーフィルムを使って「いないいないばあ」をする活動。画用紙に赤いりんごをカラーフィルムを通して見ることで色が変わる様子を楽しんだ。「いないいないばあ」という掛け声の「ばあ」に合わせて声を上げる様子が見られた。



◎さくらぐみ

OHPを使い、魚型などに切り抜いたカラーフィルムを映した。小さな魚が色の異なる大きな魚に食べられる話をし、魚を重ねたときの色の変化を楽しんだ。小さな魚が食べられてしまうところでは「わああ」という声が上がった。



◎わかばぐみ

さくらぐみ同様に、OHPとカラーフィルムを使い重なった色の変化を楽しむ活動をおこなった。また、異なる2色の色水を透明容器に入れ、何色になったか、を当てるゲームをおこなった。子どものほうから「全部の色を混ぜるとどうなるの?」などという声もあがり、色を混ぜることに関して興味津々の様子だった。



◎にじぐみ

わかばぐみと同様に、2色の色水を混ぜて、何色になったかを当てるゲームをおこなった後、OHPとカラーフィルムを使い重なった色の変化を楽しむ活動をおこなった。さらに、画用紙にカラーフィルムを張り付けて作った色眼鏡をかけいつもと異なる世界の見え方を楽しんだ。



◎そらぐみ

にじぐみと同様に、2色の色水を混ぜて、何色になったかを当てるゲームをおこなった後、OHPとカラーフィルムを使い重なった色の変化を楽しむ活動をおこなった。2色の色を混ぜると何色になるかの知識は持っていたが「白色と黄色と青色と赤色を混ぜるとどうなるか」などと言う問い合わせに対して興味を持ち活動に取り組むことができた。色眼鏡をつくる作業では両目で異なるカラーフィルムを貼り付けるなどの工夫が見られた。



☆準備物

OHP、カラーフィルム、色眼鏡など

2010年4月19日

「こいのぼりと遊ぼう」

◎つぼみ・ももぐみ

こいのぼりの物語を聞いた後、スズランテープに目や鱗を描いて作ったこいのぼりを風になびかせたりし、その様子を眺めたり触ったりした。スズランテープを怖がる子どももいた。



◎さくらぐみ

つぼみ・ももぐみ同様、こいのぼりの話を聞いた後、こいのぼりの絵が描かれた画用紙に、指に絵の具をつけてスタンプをしていった。絵の具を触ることを怖がっている子も最後には楽しんで活動をすることができた。



◎わかばぐみ

さくらぐみ同様に、こいのぼりの話を聞いた後、水の入ったペットボトルのキャップ裏に絵の具をつけたものを用意し、それを振って中の色が変化する様子を楽しんだ。さらにそのペットボトルに目玉を貼り付けてこいのぼりを作った。



◎にじぐみ

わかばぐみ同様に、こいのぼりの話を聞いた後、鱗型に切った画用紙に絵の具を塗り、その上にもう一枚の画用紙を重ねてデカルコマニーをおこなった。そして作った鱗を張り合わせて一枚の大きなこいのぼりを作った。



◎そらぐみ

にじぐみ同様、こいのぼりの話を聞いた後、鱗型に切った画用紙を使いデカルコマニーをおこなった。前の週の活動を覚えていたらしく、絵の具の色を混ぜるときに何色になるかを予測しながら色を混ぜられるようになった。そして、作った鱗を張り合わせて一枚の大きなこいのぼりを作った。



☆準備物 鱗型に切った画用紙、大きなこいのぼり、スズランテープのこいのぼり、絵の具、ペットボトルなど

2010年4月26日

「まわれまわれ」

◎つぼみ・ももぐみ

カラーフィルムをチョウチョ型に切り、竹ひごに貼り付けたものを使ってひらひらする時に光を通して色が変わる様子を眺める活動をおこなった。さらにカラーフィルムをチョウチョ型に切ったものを大量に子どもたちの頭上から散らすと、笑い声が上がり、ひらひら舞う様子を眺めたり、手でにぎったりしながらカラーフィルムの素材の感触や光に当てたときの色の変化を感じ取った。

◎さくらぐみ

カラーフィルムをチョウチョ型に切ったものを子どもたちの頭上から散らし、そのチョウチョを集めて銀紙を巻いた木の枝に貼る活動をした。銀紙によって乱反射を起こした光がカラーフィルムに当たることで光による色の変化を見ることができた。

◎わかばぐみ

紙皿にピコピコマーカーで絵を描き、その紙皿の中心にビー玉をはめ込んでコマを作った。子どもたちはビー玉を上手につかみ回すことができただけではなくコマを盾に見立てて遊ぶ方法もあみだしたようだった。



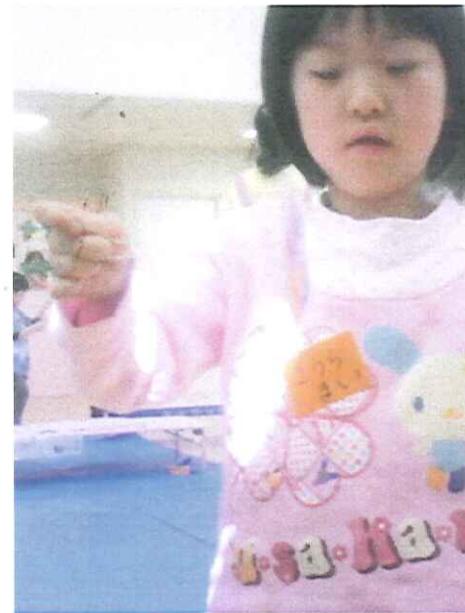
◎にじぐみ

1辺6cmに切った牛乳パックにストローを貼り付けてコマを作った。「うまく描けるかなあ」と言いつつも楽しんで絵を描く様子がみられた。また、コマを上下逆さに回してみたり、「牛乳パックの角を少し持ち上げるとうまく回る」というアドバイスを聞いて牛乳パックの四つ角を折り曲げたり、という工夫がみられた。



◎そらぐみ

1辺6cmに切った牛乳パックの中心に穴を空けたものに絵を描き、ひもを通してぶんぶんごまを作った。模範演技で「何色に変わるか教えてね」と言ってぶんぶんゴマを回してみると色の変化に驚く声があがった。



☆準備物 カラーフィルムのチョウチョ、ストロー、紙皿、牛乳パック、銀紙の巻いた枝、ビー玉、たこ糸など

2010年5月10日

「身体で遊ぶ」

◎つぼみ・ももぐみ

身体の各部分を叩いて、音を出してみたり、音楽に合わせて床を叩いたり、手拍子をする活動を行った。猫の鳴き声をしてみると、まねをして猫になりきる子どもの姿も見ることができた。



◎さくらぐみ

絵本『けろけろ ころろ』の読み聞かせをした。その後、身体の各部分を叩き、音を出した。音楽に合わせて、手拍子をしたり、各部分を叩きながら、室内を丸くなり歩いた。



◎わかばぐみ

絵本『けろけろ ころろ』の読み聞かせをした。次に、輪になり、学生のまねっこをして、足踏みや手拍子をした。学生が、絵本に出てきたカエルの鳴き声をやってみせると、同じようにまねをしている子どもの姿を見ることができた。最後に、身体の各部分の名称を確認し、音楽に合わせて、音を出した。



◎にじぐみ

絵本『けろけろ ころろ』の読み聞かせをした。次に、身体の各部分の名称を確認をし、学生のまねっこをし、身体の各部分を叩き、音を出した。子どもたちは、楽しそうにまねっこをしていた。特に、おしりに興味を持ち、楽しんでいた。続いて、ピアノで『からだあそびのうた』を弾き、ピアノのリズムに合わせて、身体の各部分を叩いて遊んだ。



◎そらぐみ

大きな模造紙の上に子どもたちを寝かせ、子どもの身体の型を取る活動をした。その取った型をもとに、身体の各部分の名称を確認した。次に、ピアノで『からだあそびのうた』を弾き、ピアノのリズムに合わせて、身体の各部分を叩いて遊んだ。子どもたちは、早いリズムが好きなようで、「もっと早く」と言いながら、楽しそうに活動していた。



☆準備物 絵本『けろけろ ころろ』、模造紙、鉛筆、音楽

2010年5月17日

「声で遊ぶ」

◎つぼみ・ももぐみ

動物の写真を見ながら、動物の鳴き声を聞く。



◎さくらぐみ

動物のシルエットと見ながら、鳴き声を聞き、どんな動物だか当てるゲームを行った。どんな動物か分かると、身体を使い、その動物になりきる子どもの姿も見ることができた。最後に、カエルの鳴き声をまねながら、カエルになりきり動き回った。楽しそうにジャンプしている子どもの姿があった。



◎わかばぐみ

動物のシルエットを見て、その動物の鳴き声を聞いたり、まねて、それを録音したりした。動物の鳴き声を聞いたそのまま表現している子どもの姿を見ることができた。



◎にじぐみ

動物のシルエットを見て、その動物の鳴き声を聞いたり、まねて、それを録音したりした。録音した自分たちの声を聞くことに、興味を示し、面白がっていた。



◎そらぐみ

動物のシルエットと見ながら、鳴き声を聞き、どんな動物だか当てるゲームを行った。
その後、糸電話を作り、話して遊んだ。



☆準備物 動物の鳴き声、録音機器、紙コップ、糸

2010年5月24日

「身边にあるものの音」

◎つぼみ・ももぐみ

紙コップやトレーを使い、馬の足音やカエルの鳴き声を表現したり、ビンや缶など身边にあるもので音を出して遊んだ。紙コップで音を出すことが気に入っていた。



◎さくらぐみ

紙コップやトレーを使い、馬の足音やカエルの鳴き声を表現したり、ビンや缶など身边にあるもので音を出して遊んだ。叩いて音を出すものが好きなようで、床に叩きつけたり、手で叩く姿が多く見られた。



◎わかばぐみ

この日は雨が降っていたので、雨の音を聞き、ペットボトルと小豆や水を使い、雨の音を作り、それを聞いた。その後、アイスのカップに中に米を入れて、マラカスを作り、振って遊んだ。



◎にじぐみ

この日は雨が降っていたので、雨の音を聞き、ペットボトルと小豆や水を使い、雨の音を作り、それを聞いた。その後、ペットボトルに米、小豆、大豆など好きな物を入れ、マラカスを作り、鳴らして遊んだ。



◎そらぐみ

この日は雨が降っていたので、雨の音を聞き、ペットボトルと小豆や水を使い、雨の音を作り、それを聞いた。その後、ペットボトルに米、小豆、大豆など好きな物を入れ、マラカスを作り、音楽に合わせて鳴らしたりして遊んだ。



☆準備物 ピクピククイズの音源（紙コップ、BIN、トレー、缶、風船、たまごのパック）、
アイスの空き箱、ペットボトル、マラカスの中身（小豆、米、貝殻など）

2010年5月31日

「音楽に合わせて」

◎つぼみ・ももぐみ

ダンボールや空き缶、カップを使い、音を出して遊んだ。



◎さくらぐみ

学生が手作りの楽器で演奏するのを聞く。その後、ダンボールや空き缶、カップを使い、音楽に合わせて音を出して遊んだ。



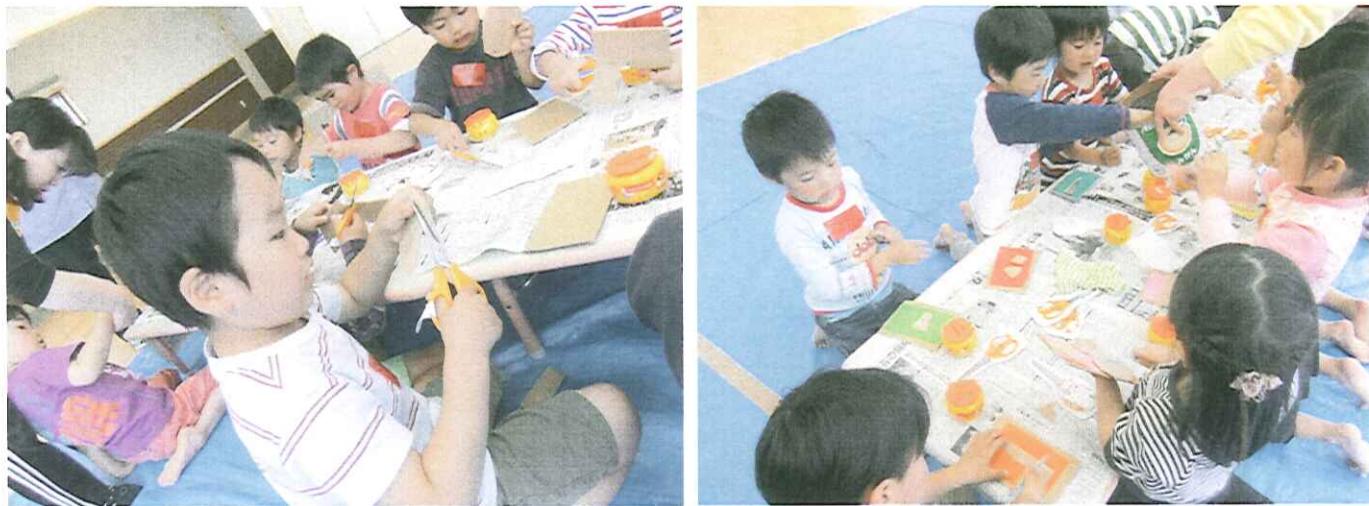
◎わかばぐみ

紙皿とペットボトルのキャップを使い、カスタネットを作る活動をした。学生や保育者に手伝ってもらい、一生懸命にキャップをつける姿が見られた。



◎にじぐみ

巻き段ボールを使い、ギロを作る活動をした。巻き段ボールを自分の好きな形に切り、自分だけのギロを作っていた。巻き段ボールを切るのを楽しんでいた。



◎そらぐみ

ペットボトルにビニールを張り、輪ゴムをつけ、ゴムを弾き鳴らす楽器を作る活動をした。ビニールをたるまないように張ることは難しかったようだが、友だちと協力して作る姿が見られた。



☆準備物 ダンボール、空き缶、カップ、紙皿、ペットボトルのキャップ、巻き段ボール、ペットボトル、ビニール、輪ゴム

2010年6月7日

「シャボン玉に触れよう」

◎つぼみ・ももぐみ

シャボン玉を窓際から見る活動を行った。ストローやうちわの骨組み、ハンガーなどで作ったシャボン玉を目で追っている子や手を伸ばしてつかもうとしている子が見られた。



◎さくらぐみ

園庭にて、モールで作った枠を使ってシャボン玉を作り遊ぶ活動を行った。息を吹きかけてシャボン玉を作ったため、上手く出来ない子もいたが、援助を行い、シャボン玉がたくさん出来るととても嬉しそうで楽しく活動していた。



◎わかばぐみ

さくらぐみと同様の活動。活動の始めに学生がハンガーに毛糸を巻いて作った枠やうちわの骨組みなどで作った様々な大きさ、数のシャボン玉を見せた。



◎にじぐみ

モールでシャボン玉を作るための枠を作る活動を行った。始めにモールで丸い形を作った後に星の形や8の字の形などそれぞれ好きな形についていた。モールで枠作りを行った後、園庭に出て作ったものを用いてシャボン玉を作り、遊んだ。



◎そらぐみ

モールでシャボン玉を作るための枠を作る活動を行った。にじぐみでは、モール1本で形を作つて枠を作ったが、そらぐみではモールを2本つなげてにじぐみよりも大きい枠を作った。枠が大きくなつた分、面白い形を作つている子など形のバリエーションが増えていた。枠作りが終わつた後に、園庭に出て作った枠を用いてシャボン玉を作り遊んだ。また、学生が用意した大きな枠でのシャボン玉作りを楽しんでいた。



☆準備物 シャボン玉溶液（食器用洗剤、合成洗濯糊、水、砂糖水/赤ちゃん石鹼）、ストロー、モール、タライ、バケツ、セロハンテープ

2010年6月14日

「水ってどんなもの？」

◎つぼみ・ももぐみ

水に関する絵本を見る。その後に、透明なビニール袋に入った水を触る活動を行った。



◎さくらぐみ

水に関する絵本を見た後、画用紙に歯ブラシを使って水たまりの形に切り取った画用紙の上からこすって、色をつけ絵を描く活動を行った。



◎わかばぐみ

水に関する絵本を見た後、花びらの形に切り取った画用紙の上から、歯ブラシを用いて絵の具で色をこすりつけ絵を描く活動を行った。



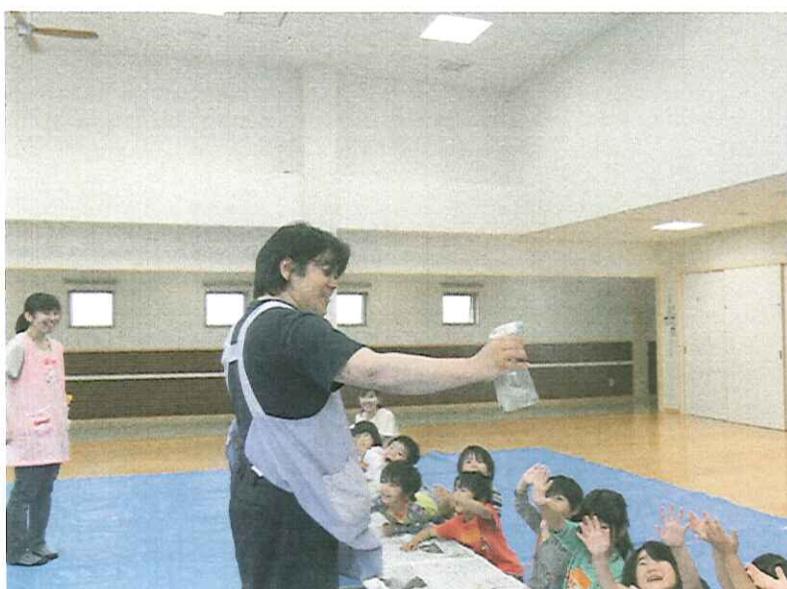
◎にじぐみ

水に関する絵本を見た後、歯ブラシを使ってにじみ絵を行った。水の具合で上手くにじまない子もいたが、色が広がっている様子を見て楽しんでいる様子だった。ここで行ったにじみ絵を使って次の活動であるあじさいを作った。



◎そらぐみ

にじぐみと同様の活動を行った。



☆準備物 絵の具、花型パレット、筆、絵の具用のバケツ、歯ブラシ、割り箸、トレー、きりふき、画用紙

2010年6月21日

「あじさいを作ろう」

◎つぼみ・ももぐみ

雨の話から梅雨の季節に咲くあじさいの話を聞いた。その後、学生が持ってきた本物のあじさいを見たり、触ったりする活動を行った。



◎さくらぐみ

あじさいのお話を聞き、本物のあじさいを見て触る活動を行った。その後、紙皿に細かく切った色紙を糊で貼り、あじさいの花を作った。一人ひとり作ったものを模造紙に集めて貼り付けて、クラス全体で大きな絵を作成した。



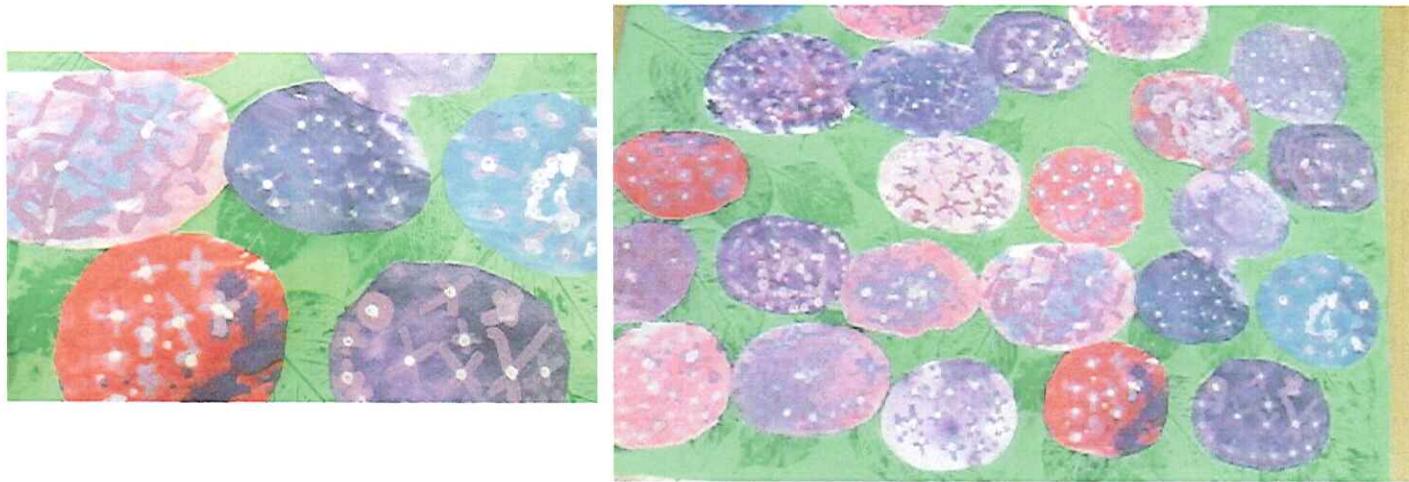
◎わかばぐみ

さくらぐみと同様にあじさいの話を聞いた後、紙皿に色紙を貼ってあじさいの花を作る活動を行った。



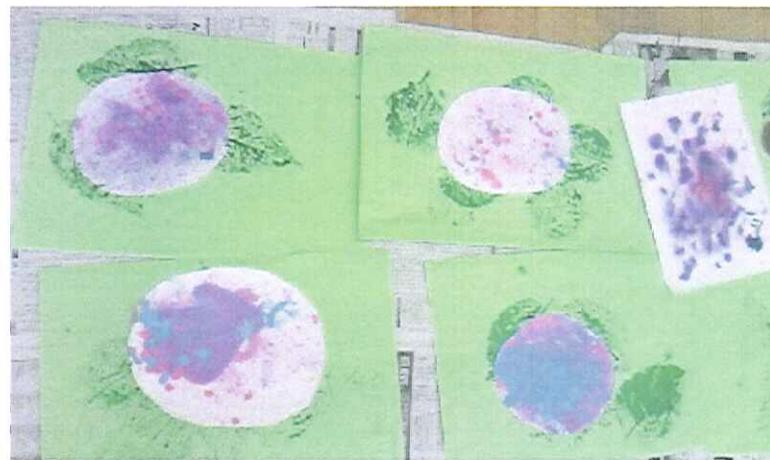
◎にじぐみ

6月14日に行ったにじみ絵を使ってあじさいの花を作った。画用紙を丸に切った後、絵の具を使い、花に模様（×を描いていく）を描く活動をした後に、模造紙に貼り、クラスで一つの作品を作った。



◎そらぐみ

6月14日に行ったにじみ絵を使い、あじさいの花を作った。最初に画用紙を丸くあじさいの花の形切り、その後、本物のあじさいの葉を使い、葉っぱのスタンプを行った。葉っぱのスタンプは、葉の形だけではなく、葉脈なども見られて、とても楽しそうに活動を行っていた。



☆準備物 糊、タオル、はさみ、あじさい（本物）、色紙、
模造紙（あらかじめ葉っぱスタンプを行ったもの）、両面テープ

2010年6月28日

「たなばたについて知ろう」

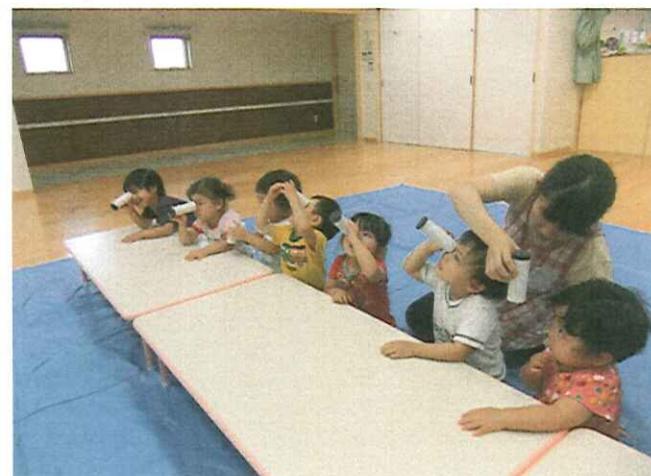
◎つぼみ・ももぐみ

福島の民話「穴無の夜（めどなしのよる）」を聞く活動を行った。



◎さくらぐみ

「穴無の夜」のお話を聞く。トイレットペーパーの芯に黒い画用紙で片方だけふたをしてあるものに穴を開けておいたものを用いてその側面に星のシールを貼り、ライトなど光にかざして穴から漏れてくる光を見る活動を行った。



◎わかばぐみ

「穴無の夜」のお話を聞いた後、穴が開けてある黒画用紙（夜空をイメージしたもの）に星型のキラキラ折り紙を糊で貼って、夜空に星を作る活動を行った。



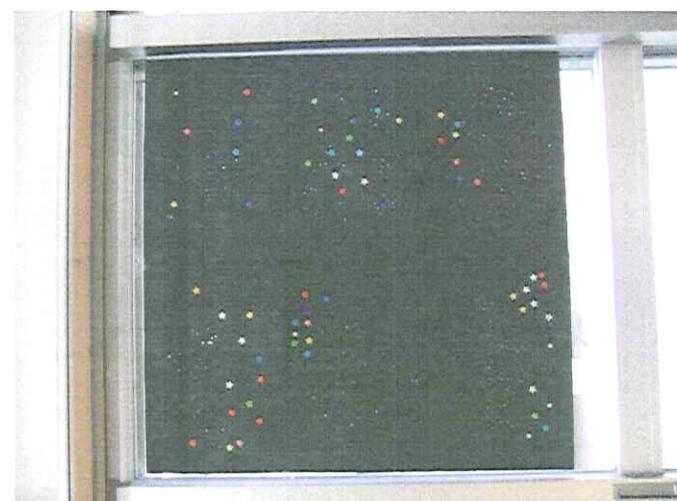
◎にじぐみ

「穴無の夜」のお話を聞く。竹ひごを使って黒い画用紙に穴を開ける活動を行った後に、画用紙の後ろに色セロハンを貼った。光にかざして見ると色セロハンを貼った部分が赤、青、黄色などと言った様々な色の星になっていた。



◎そらぐみ

「穴無の夜」のお話を聞く。にじぐみ同様に黒い画用紙に穴を開ける活動を行った後に、画用紙の後ろから色セロハンや星型の折り紙を貼り、夜空を作る活動を行った。



☆「穴無の夜（めどなしのよる）」のあらすじ

神代の昔、地上の動物たちは、動物神が空に布をかけないので夜が来ず困っていた。そこで、カケスが神様の所へお願いをし、夜にしてもらった。カケスは地上に帰るときに布を破いてしまい、そこからもれる光を見て「天の川」と名づけた。ところが、今度は夜が続いたので時間を決めて布を開閉してもらえるようにした。しかし、夜にするための布をいつまでも変えないので、しだいに布はボロボロになってしまった。そこからもれる光を見て、地上の動物は「星」と名づけた。また、布を新しくした夜を「闇夜」と呼ぶようになった。（『ふーちゃんの民話館　ねえみんな・・・』「穴無の夜」あらすじより抜粋）

☆準備物 糊、黒画用紙、色セロハン、折り紙、竹ひご、トレー、セロハンテープ

2010年7月5日

「お祭りについて知ろう」

◎つぼみ・ももぐみ

お祭りに関する話を聞く。



◎さくらぐみ

お祭りに関する話を聞く。保育園の夏祭りで使用するお神輿の一部分を作る。黒の画用紙に金紙を貼りつけていく。貼ったものを2人で「わっしょい」と言いながら運んでいた。



◎わかばぐみ

お祭りに関する話を聞く。保育園の夏祭りで使用するお神輿の一部分を作る。黒の画用紙に金紙を貼りつけていく。金紙を貼ったものを顔に見立てて、楽しんでいる子もいた。



◎にじぐみ

お祭りに関する話を聞く。保育園の夏祭りで使用するお神輿の一部分を作る。黒の画用紙を筒状にし、そこに金紙を貼りつけていく。立体のものに貼りつけるのは少し難しかったようだが、一つ一つ丁寧に貼りつけていた。



◎そらぐみ

お祭りに関する話を聞く。自分の知っているお祭りの写真が出てくると、「知ってる」という声があがった。保育園の夏祭りで使用するお神輿の一部分を作る。黒の画用紙を筒状にし、そこに金紙を貼りつけていく。



☆準備物 金紙、黒の画用紙

2010年7月12日

「お祭りを楽しむ」

◎つぼみ・ももぐみ

いろいろなお神輿の写真を見て、夏祭り用のお神輿の飾りを作る。シールを貼り、装飾をしたが、楽しそうにたくさんのシールを貼っていた。



◎さくらぐみ

夏祭り用のお神輿を見て、そこに付ける飾りを作る活動をした。クレヨンで自分の顔をテーマに絵を描き、飾りを作った。描いたものを説明しながら、楽しそうに描いていた。



◎わかばぐみ

夏祭り用のお神輿を見て、そこに付ける飾りを作る活動をした。クレヨンで自分の顔をテーマに絵を描き、飾りを作った。



◎にじぐみ

夏祭り用のお神輿を見て、そこに付ける飾りを作る活動をした。色鉛筆で自分の顔をテーマに絵を描き、飾りを作った。お神輿にすごく興味を示し、持ち上げて見せると、「わっしょい、わっしょい」という掛け声があがり、楽しそうだった。

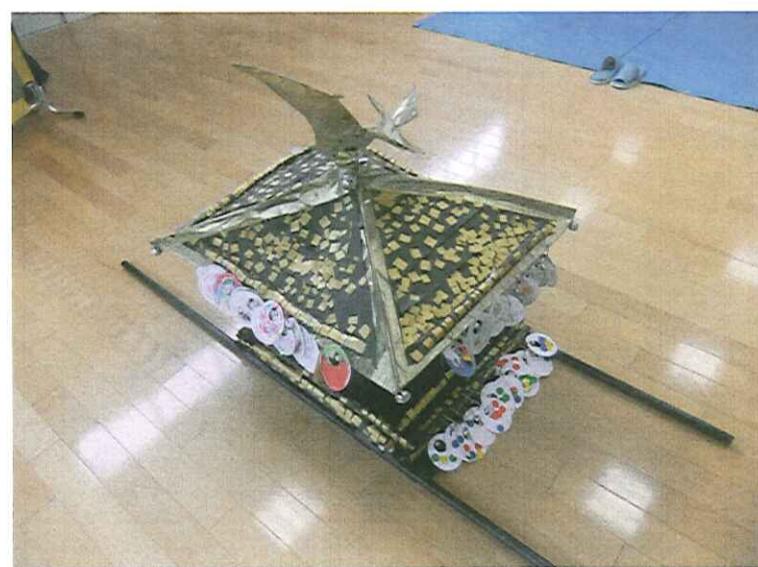


◎そらぐみ

夏祭り用のお神輿を見て、そこに付ける飾りを作る活動をした。色鉛筆で自分の顔をテーマに絵を描き、飾りを作った。その後、お神輿に取り付けた。ボンドを出すことが面白かったようで、友だちと競うようにして行っていた。



☆準備物 画用紙で作った飾りの台紙、シール



★夏祭りの様子★



2010年7月26日

「ひまわり」

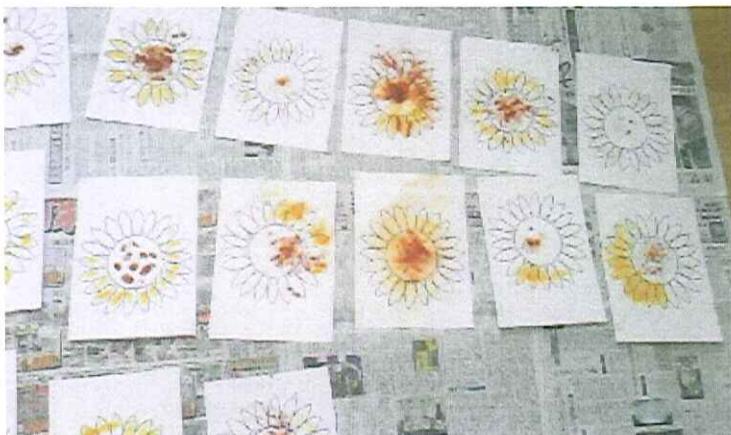
◎つぼみ・ももぐみ

ひまわりの話を聞き、本物のひまわりを見たり、触ったりする。



◎さくらぐみ

ひまわりの話を聞く。その後、ひまわりの絵に、指スタンプで色をつけていく活動をした。花びらを一枚一枚、丁寧に染めている子どもの姿が見られた。



◎わかばぐみ

ひまわりの話を聞き、本物のひまわりを見たり、触ったりする。その後、ひまわりの絵に、指スタンプで色をつけていく活動をした。指だけではなく、手のひらいっぱいに絵の具をつけてスタンプを楽しんでいる子どももいた。



◎にじぐみ

ひまわりの話を聞き、本物のひまわりを見たり、触ったりする。触った感触や、匂いなど、熱心に本物のひまわりを観察していた。紙皿に種の部分を描き、その周りに画用紙で作った花びらを貼っていき、ひまわりを表現した。



◎そらぐみ

ひまわりの話を聞き、本物のひまわりを見たり、触ったりする。紙皿に種の部分を描き、その周りに画用紙で作った花びらを貼っていき、ひまわりを表現した。花びらの数を数えながら貼っている子どもの姿があった。



☆準備物 絵の具、スポンジ、クレヨン、のり、花びら、紙皿

2010年8月2日

「マーブリング」

◎つぼみ・ももぐみ

ある池に赤い花が落ちるとそこに住む魚も赤色に、青い花が落ちるとそこに住む魚も青色に、両方の花が落ちるとそこに住む魚は赤と青のマーブリングされた色になる、という話をした。



◎さくらぐみ

さまざまな魚の話をOHPで紹介した後、水にマーブリング溶液をたらしたバットに魚の形をした画用紙を入れてマーブリングを施した。自分で入れた画用紙が鮮やかにマーブリングされているのを見て、喜びの声をあげていた。



◎わかばぐみ

さくらぐみ同様、さまざまな魚の話をOHPで紹介した後、水にマーブリング溶液をたらしたバットに魚の形をした画用紙を入れてマーブリングを施した。



◎にじぐみ

わかばぐみ同様、さまざまな魚の話をOHPで紹介した後、水にマーブリング溶液をたらしたバットに魚の形をした画用紙を入れてマーブリングを施し、さらにその画用紙に魚の絵を描いた。魚の話で使用した魚の絵を参考に、背びれや尾びれまで描く子どももいた。



◎そらぐみ

にじぐみ同様、さまざまな魚の話をOHPで紹介した後、水にマーブリング溶液をたらしたバットに魚の形をした画用紙を入れてマーブリングを施し、さらにその画用紙に魚の絵を描いた。魚にハートの模様を描いたり、自分たちで趣向を凝らしながら描く様子が伺えた。



☆準備物 魚の形にきった画用紙、マーブリング溶液、画用紙など

2010年8月9日

「海の生き物を作ろう」

◎つぼみ・ももぐみ

海の様々な生き物に関する話を聞いた後、マーブリングを施した大量の魚を拾い集めるゲームをおこなった。子どもたちは集めた後、先生に「はい」と言って渡すことを楽しんでいた。



◎さくらぐみ

つぼみ・ももぐみ同様、海の生き物に関する話を聞いた後、前の週におこなったマーブリングを施した魚にクリップをつけて、魚釣りゲームをおこなった。丸めた新聞紙の先に磁石をつけて作った釣竿を巧みに使い、魚を集めては講師たちに自慢げに報告しに来た。



◎わかばぐみ

さくらぐみ同様、海の生き物に関する話を聞いた後、前の週におこなったマーブリングを施した魚を使い魚釣りゲームをおこなった。講師たちに「ヒトデ取ったよ」「うに取ったよ」などと自分の釣った海の生き物を喜んで報告する姿が見られた。



◎にじぐみ

わかばぐみ同様、海の生き物に関する話を聞いた後、前の週におこなったマーブリング用紙に描いた魚を形にあわせて切り取り、そこにクリップをつけて、魚釣りゲームをおこなった。割り箸に糸をたらし、その先に磁石をつけて作った釣竿を巧みに使い、講師の指定した海の生き物を釣る、というゲームをおこなった。磁石の先に2匹以上の魚をくっつけて、「見て、こんなに取れたよ」と報告する子どもの姿が見られた。



◎そらぐみ

にじぐみ同様、海の生き物に関する話を聞いた後、前の週に描いた魚を切り取り、魚釣りゲームをおこなった。講師の指定した海の生き物を釣る、と言うゲームをおこなったのだが、友達が間違って他の生き物を釣った場合に「これじゃないよ」と言うように注意しあう姿がみられた。



☆準備物 釣竿、クリップ、魚以外の海の生き物など

2010年8月30日

「船を作ろう」

◎つぼみ・ももぐみ

船の話をきいた後、水を張ったタライに様々な材質でできたブロックを浮かべたり沈めたりする様子を見た。鉄や木のブロックが沈むのを見た後に発泡スチロールを高い位置から水に投げつけても水面に張り付くようにぺたっと浮かぶのを見たときは、子どもたちからも驚きの声が上がった。その後牛乳パックで作った船を水に浮かべるのを眺めた。



◎さくらぐみ

つぼみ・ももぐみ同様に、様々な材質でできたブロックを浮かべたり沈めたりする様子を眺めた。その後船のお話を聞き、牛乳パックを開き、白く塗って作った“帆”に絵を描いた。そして作った帆を牛乳パックを半分に切ったものに差し込み、船を完成させ、プールに浮かべて楽しんだ。



◎わかばぐみ

さくらぐみ同様に、様々な材質でできたブロックと船のお話を聞いた後、牛乳パックで作った“帆”に絵を描き、それを半分に切った牛乳パックに差し込み、船を完成させた。プールでは、作った船が波を起こすことで進むことに気がついた子どもが、一生懸命に波を立てるのだが、波が大きすぎて船が転覆してしまうと言う事件も発生した。



◎にじぐみ

わかばぐみ同様に、様々な材質でできたブロックと船のお話を聞いた後、牛乳パックで作った“帆”に絵を描き、それを半分に切った牛乳パックに差し込み、船を完成させた。プールでは、それを浮かべて楽しんだり、誰が一番早く反対側のプールサイドにいけるか競争したりして楽しんだ。



◎そらぐみ

にじぐみ同様に、様々な材質でできたブロックと船のお話を聞いた後、動く船を完成させた。船は牛乳パックの両脇に割り箸を色つきのガムテープで固定し、そこに牛乳パックと割り箸で作った風車を取り付けて作った。プールでは、全員で同じ方向に歩いて流れるプールを作り、舟をその波に乗せてより早く進む様子を見たりして楽しんだ。

